

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立四十万小学校] 担当教諭名 [藤田 清士] (6年2組 30名)

相手国・地域 [フランス]

海外学校名 [Collège La Loge des Bois] 担当教諭名 [Thierry Lambert]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	未来の金沢・未来の世界を創造しよう	25
	英語	Our Town, Writing A Letter	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Being Connected to Each Other
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	「ボーダレス」が「お互いにつながっている」
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>英語が苦手な児童や意見を相手に伝えることが苦手な児童も絵・表・図を使って表現しようとする姿が輝いていた。次に、フランスの小学生に自己紹介をしたり金沢のお気に入りの場所を紹介したりといった相手意識が、「何とか伝えたい」「練習したい」という気持ちにつながったといえる。また、調べ活動や「金沢めぐり」体験、発表用資料作りや絵画作成などの活動では、お互いに折り合いをつけ、普段の関わりよりも温かく深いものが生まれていたように思う。最後に、今後生きる力として、パワーポイントを使って発表する活動では、どの児童も画像のキーワードをもとに言葉を加えたり説明を補ったりするといったプレゼンテーション能力の素地を身につけられたのではと思う。以上のことから、どの児童も一人ひとりが活躍し、居場所がある活動となったことが、結果的に「ボーダレス」が「お互いにつながっている」というテーマにも結びついたように思う。</p>	<p>即時的な表現の難しさを経験させること、その上で、身振り手振りでも何とか相手に伝えたい気持ちから何か工夫を考え実践するといった表現する力の大切さを感じさせるためにはTV会議などのやりとりが必要だと感じた。また、日本の小学校の先生の担任制と違って、相手国の担当先生が教科担任であるために児童とテーマについて話し合ったり考えたりすることができにくいという弊害も若干感じた。あと、一番大切な、「絵」を通して何を伝えたいかというテーマについてお互いの意見の深まりがないままに、絵画作成に入ったことが残念だった。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>自己紹介文で気軽に書いた会話「僕はきのこがきらいです。」が相手国の女児童を傷つけてしまったことを通して、異文化理解の大切さが実感できた。1対1、もしくは、1対2対応で、手紙のやりとりをさせたことで、より相手意識が高まり、2回目の手紙郵送では、メッセージ内容がより深まった。自分たちがつくった映像やパンフレット、また、相手国が作成した映像を紹介し合うことで、お互いの児童の様子、地域性、活動や絵画作成の様子がよく伝わった結果、協働して絵画を完成させる意識が高まった。</p>	<p>総合や外国語の活動を、できる限り「アートマイル活動」に応用、活用できるように単元の見直しを持って計画することができた。写真が添付しやすくなったことで、より多くの種類や様子を相手国に伝えることで、双方向のやりとりができるようになった。フランスの国の教科担任制によって、「アートマイル活動」をすすめる大変さが分かったと同時に、それでも最後まで私たちと交流していただいたことにありがたさを感じた。また、フランスの自然と歴史について、金沢との共通点を見いだすことができた。やはり、つながっているという意識がとても大切であった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の手紙を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の自己紹介単元とリンクして、自分の得意なことや好きなこと中心に英語の手紙を書いた。 	英語
共有 テーマ学習	6月 7月 9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> 「世界がもし60人の村だったら」金沢星陵大学生によるワークショップ 金沢の魅力について調べる 交流国について調べる 金沢めぐりから自分のお気に入り紹介ビデオをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の具体的な問題場面から、貧困の格差、識字率の低さ、共に生きることについて考えることができた。 本や資料などを活用し、自分で調べたことをグループで話し合い、グループごとにホワイトボードにまとめた。 フランスについて調べることで、日本との共通点や相違点について理解していた。 グループ毎に金沢めぐりを行い、自分のお気に入りの場所紹介ビデオレターをつくる。 	総合
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画の構図を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ毎に、これまで学習してきたことから大切にしたいことを根拠に、構図案を作成することができた。 	総合
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画を彩色して完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員を中心に役割分担を行いながら協力して完成させることができた。 	総合
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 相手国と絵画作成経過についてフォーラムで確認し、手紙を作成する。 卒業式の日、絵画と対面し感動を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> とても待ち遠しい様子だったので、応援の手紙も書く。 ふり返りや自己評価ができなかったが、自分たちがやってきたことの達成感を味わうことができた。 	英語 総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	金沢の魅力について調べる内容では、個人が調べたいテーマ毎に、資料「華やか金沢」「金沢市史」から調べたことをもとにグループ内で聴き合いまとめることができた。
異文化の理解	B	3	フランスについて調べることで、日本との共通点や相違点について理解していた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	外国語の自己紹介単元とリンクして、自分の得意なことや好きなこと中心に英語の手紙を書くために、ETやHRTに積極的に質問する姿が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	グループ毎に金沢めぐりを行い、自分のお気に入りの場所紹介ビデオレターをつくったり、パワーポイントソフトを活用しながら下級生たちに金沢の魅力を発表したりすることができた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	4	テーマ毎にグループに分かれ、折り合いをつけながら金沢めぐりのコースを決めたり、発表練習をしたりする姿が見られた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	実行委員を中心に役割分担を行いながら協力して完成させることができた。普段、友達と関わりが少ない児童も意欲的に働いていた。
学習を追究する意欲	C	2	自分たちの意見と相手国の意見をすりあわせる時間がなく残念だった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	文章が苦手な児童でも絵や表に表すことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	C	1	相手国からの絵画到着が遅く、作品の鑑賞時間が十分にとれず残念だった。